

## 企画書

高松塚古墳壁画発見50周年・奈良文化財研究所創立70周年

### 令和4年度秋期特別展「飛鳥美人 高松塚古墳の魅力」

主催 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館

後援 文化庁・近畿日本鉄道株式会社

会期 令和4年10月21日（金）～12月18日（日）

会場 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館

開館時間 9:00～16:30（入館 16:00 まで）

休館日 毎週月曜日

入館料 一般 350 円、大学生 200 円、70 歳以上・高校生および 18 歳未満無料

昭和 47 年（1972）3 月、高松塚古墳壁画が発見されました。発見は社会的熱狂と飛鳥ブームを巻き起こし、壁画は国宝に、出土品は重要文化財として指定されました。女子群像は飛鳥美人として飛鳥を代表する文化財となり、寄附金付記念切手はいまもって歴代最多発行部数を誇っています。その後、紆余曲折を経て壁画・石室は解体され、現在は修理施設で保管・公開されています。

本展覧会では、日本中を魅了した高松塚古墳壁画と出土品の魅力にあらためて迫るとともに、奈良文化財研究所のとりくみを中心に近年の調査研究成果をわかりやすく紹介します。これまでの 50 年をふりかえり、国宝中の国宝とも言われる高松塚古墳壁画と出土品を次の 50 年へとつなげる機会となれば幸いです。

#### 主な展示品

- 前田青邨監修 壁画模写
- コロタイプ印刷 発見当初の壁画写真パネル
- 重要文化財 高松塚古墳出土品
- 御嶺山古墳鍔金具
- 高松塚古墳記念切手の制作関係資料
- 昭和 48 年撮影 8mm フィルム